



受江建第 600 号
平成19年4月23日

国土交通省道路局長 様

江府町長 竹内 敏朗



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

平成19年4月2日付け、国道企第114号で依頼のありました標記の件に
いて、別紙のとおり回答します。

別 紙

1、重点化を進める上で特に優先度の高い政策

(1) 地域活性化（観光も含む）や物流のため都市や交通拠点を結ぶ道路の整備。

本町においても、過疎、高齢化は今後も一層進むことが予測されが、若者定住促進を図る上でも、企業誘致等積極的に行う必要があるが、その条件的なものはやはり都市や交通拠点の道路整備が整っていれば誘致の可能性も高い。

観光においても、道路整備されていれば、ルートに加わる可能性も高いし、観光的な施策も展開し易い。

具体的に本町の場合を申しますと、県道倉吉江府溝口線には鍵掛峠という大山南壁を一望に展望でき、観光客も多くの方が訪れるが、雨が降れば土砂流出により通行止めになるし、カーブも多い。これの解消により安心な観光ルートの確保ができる。

誘致であるサントリーの進出により、大型トレーラーでの輸送体系の確立が必要であるが、R482の岡山県側の早期整備も必要である。

またR181号からR482号にタッチする所に江尾踏切があり、これも狭く解消できれば、物流面、観光面でも効果は大きい。

(2) 通勤、通院などの日常の暮らしを支える幹線道路の整備及び除雪等。

本町における雇用の場所も少なく、多くの町民が県西部の中心である米子あるいはその周辺に通勤している状況である。

高速道路の米子道があるが、通勤等日常的に利用でき冬季においても除雪対策が整った道路があれば、短時間で安心して通勤でき、若者定住にもつながる。

2、効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと。

事業実施にあたって、早い段階で管理のことも含めた住民の意見を聞き、それが反映される取り組みを行ない、必要なものは実施し、不要なものはないという取り組みを行う必要がある。

3、その他

① 地方の道路整備をしっかりと整備していきながら、情報通信化が更に進めば、企業等の地方分散等も可能になり、都市と地方の格差も少なくなると考える。

② 国県町道のいずれも、道路側溝等の管理が充分できていないのが現状

である。山間部の道路は側溝等に土砂や木の葉等で埋まったりし、それが原因になって災害になることも考えられるので、しっかりとした管理に対することも事業計画時点で検討しておくことも必要と考える。